

特集
SMART
事業

時代のニーズに応え 2026年度売上高100億円へ

株式会社SMARTでは、ニーズが高まっているプラントリサイクルに関するサービスをワンストップで提供しています。循環型社会づくりに貢献しながら収益拡大を進め、長期的に新たな柱となる事業へと推進しています。

岩屋ウィンドパーク風力発電設備解体撤去工事

パレットタウン
大観覧車解体撤去工事

株式会社アビツ旧本社事務所解体工事

CONSTRUCTION
MONITOR
AVAR

プラントリサイクルを軸に 社会のさまざまなニーズに対応

当社の子会社である株式会社アビツは、オートオークション事業に続く柱となる事業の創出を目指し、2019年度に三井住友ファイナンス&リース株式会社の子会社と合併で株式会社SMARTを設立しました。プラントリサイクル事業を軸とし、時代の変化にともない生じる社会的ニーズに応えることで、事業規模を順調に拡大しています。

プラントは、化学製品や金属など取り扱う品目によって建物も設備が異なるため、解体などに求められる技術・知識も多様です。また、プラント以外にも、2022年度はお台場の観覧車解体、2023年度は青森の風力発電所の風車解体を請け負いましたが、これらは高所での解体作業であり、プラント解体とは求められる技術・知識が異なります。株式会社SMARTは、これらの専門性を有する人材力を強みとし、多様なお客様ニーズに応えています。

2026年度までに売上高100億円を目指す 株式会社SMARTの成長戦略

株式会社SMARTの2022年度における業績は、大規模な解体工事の受注件数が増えたことから売上高39億

2,500万円となり、増収増益を達成しました。2023年度は売上高50億円を目標として掲げています。そして、2026年度までに売上高100億円を達成することを目指しています。この飛躍的な成長を実現するためには、社会のニーズを踏まえながらさらなる技術力の向上を図る必要があります。

まずは、プラントリサイクルに付随する土壤汚染や土木など、これまで外部委託してきた領域を自社で担えるよう、業務範囲を拡大していく方針です。これらも合わせた提案ができると、他社にはない強みになります。提案時の施工計画書を3D化するなど、訴求力アップへの取り組みも進めています。

プラント分野のターゲットとしては、再編が活発な発電、石油、製鉄などに積極的に営業を提案していきます。また、橋梁や港湾といった社会インフラの老朽化にともなう解体需要も取り込んでいきます。将来的には、エンジニアリング会社などのM&Aも検討していきます。一方で、さらなる事業拡大に備えて専門性を有する人材の拡充にもこれまで以上に力を入れていきます。人材採用の強化と働きやすい環境の整備を進めるとともに、新たな外部パートナー会社の獲得にも注力していきます。

技術力と人材の両面を拡充していくことで旺盛な需要に応え、2026年度の売上高目標達成を目指します。そして、長期的には当社の主要事業の一つへと育てていきます。

株式会社SMARTのプラントリサイクル

高まる社会の期待と市場のニーズに応える

